

一生消えないデジタルタトゥー

埼玉県教育委員会

みなさんはデジタルタトゥーという言葉を知っていますか？インターネット上に書き込まれたコメントや画像、動画など、一度拡散された情報が半永久的にインターネット上に残されることを指します。軽はずみな投稿や書込みが一生を狂わせてしまうことがあります。

軽はずみな気持ちで投稿



学校で生徒同士の喧嘩が発生しました。つかみ合いの喧嘩にまで発展。それを見ていたクラスメイトはその様子を動画にとりSNSに投稿しました。

投稿した動画は一瞬のうちに拡散され、ネット上で出回ってしまいます。この動画を見た人たちが、制服から学校の特定や本人の特定を始めました。また本人たちだけでなく、映り込んでいる他の生徒の特定や仲裁に入らないことについてひどい言葉がネット上で浴びせられました。喧嘩自体はお互いが謝罪し解決しました。



学校は迅速にネット上で拡散された動画の削除を行いました。しかし全ての動画を消すことはできませんでした。その結果、行く先々で喧嘩した本人たちは、暴力をふるった人であること、仲裁に入らなかった生徒たちは、喧嘩を煽った人などと言われ続けてしまいます。その状況を知った動画の投稿者はひどく反省しましたが、既にどうすることもできない状態です。

一生消えない傷に

私たちが生活していく上で、いろいろな事が起こります。その中には一般常識として良いこと悪いこと、法律で認められていること禁止されていることなどがあります。一般常識として良いことや法律で認められている事であってもデジタルタトゥーとして残ってしまう可能性があります。ネット上で公開し、絶好の炎上ネタにされた瞬間にデジタルタトゥーとして残り続けてしまいます。本人に落ち度がなくても、第3者に巻き込まれてしまったとしても、個人の名前などネット上に公開されるべきではない情報でも、一度ネットで拡散された情報は消えません。たとえ非公開アカウントでの情報公開だとしてもデジタルタトゥー化してしまう危険性があります。



その情報は、進学や就職、結婚、人付き合い等、今後の私たちの生活の場面で思わぬ形で悪影響を及ぼす恐れがあります。一度デジタルタトゥー化してしまうと名誉の回復は難しいとされています。

日本の人口は約1億2000万人です。人口の数だけ考え方があり、感じ方も異なります。中にはどんな情報でも快く思わない人が存在します。

“本当にこの情報を発信する必要があるのか”を考え、時には**“情報を発信しない”**選択も必要です。